

婦人科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 卵巣癌患者におけるベバシズマブの使用実態に関する調査研究

[研究機関] 北海道大学病院婦人科および関連施設（北海道がんセンター、市立札幌病院、手稲溪仁会病院、KKR 札幌医療センター、札幌厚生病院、天使病院、王子総合病院、帯広厚生病院、旭川厚生病院、釧路赤十字病院、砂川市立病院）

[研究の目的] 卵巣癌におけるベバシズマブの有効性、安全性のデータを解析し、その適正な使用についての指針を確立するため。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

卵巣癌の患者さんで、平成 25 年 12 月 1 日以後平成 27 年 2 月までの間に当院あるいは関連施設でベバシズマブの投与を開始した方。

●利用するカルテ情報

- ①投与開始年齢
- ②全身状態
- ③臨床進行期
- ④組織型
- ⑤腫瘍減量手術時の残存腫瘍の有無
- ⑥術後補助療法の種類、コース数
- ⑦ベバシズマブの投与量、投与コース数、投与間隔
- ⑧再発部位
- ⑨再発時期（初回化学療法終了からの期間）
- ⑩再発時の併用化学療法
- ⑪再発病巣に対する治療効果判定（RECIST）
- ⑫アバスチン投与時の有害事象
- ⑬アバスチン投与中止理由
- ⑭腹水貯留例における排液量の変化、ドレーン抜去の有無
- ⑮腫瘍マーカーの推移

⑩生存期間（無増悪生存期間、全生存期間）

上記について、平成 27 年 3 月までの情報を利用させていただく予定です。

【個人情報の取り扱い】

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

【問い合わせ先】

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院婦人科 担当医師 渡利 英道

電話 011-706-5941 FAX 011-706-7711